

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(5月23日～5月29日)

2022年8月11日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ベラルーシ・ロシア両国首脳会談(5/23、於：露ソチ)

●5月28日からベラルーシ入国時の陰性証明・ワクチン接種証明の提示が不要に

【ルカシェンコ大統領動静】

●プーチン露大統領との会談(5/23、於：露ソチ)

大統領は要旨以下を述べた。

(1) 輸入代替

・制裁という状況下にあっても、ロシア及びベラルーシ・ロシア連合国家の経済は、西側にとって予想外かつ集約的に強化されていっている。

・両国政府は輸入代替の基本的方向性を決定し、概算額を算出済み。大した費用ではない。防衛産業は必要とされる製品を自給している。ベラルーシ・ロシア両国には、巨大な市場、膨大なリソース、技術がある。

(2) 西側によるウクライナ西部分割

・ポーランドや北大西洋条約機構(NATO)は、ウクライナを助けるふりをしてウクライナ西部を分割しようとしている。ベラルーシ西部に対しても同様の戦略を採っている。

・ウクライナは、西部や他の地域を西側に奪取されないよう、ベラルーシ・ロシアに頼み込むことになる。

(5月23日 大統領府)

●軍事的安全保障の問題に関する会合(於：国防省)

大統領は要旨以下を述べた。

・西側とロシアの対立激化という状況下にあって、ベラルーシはかつてない、また長期にわたる経済的、政治的、また軍事的圧力にさえ直面することになる。

・現下の状況において、軍部隊には、いつでも備えができていて、ベラルーシを目標とする軍事的な目論見に対して適切な対応ができることが、かつてなく求められている。

・国防省高官は、ウクライナでの戦訓や近隣諸国における脅威の増大といった最新的情勢を踏まえ、軍の発展の方向性を明確化した提案を早急に作成し、そ

の作業結果を報告すること。

・情報空間を強化する必要もある。情報面での反撃に関する取り組みなしに、軍事的安全保障という取り組みを進めることはできない。この分野で我々は若干立ち遅れてもいる。

・現代世界において軍事行動は、経済戦争、情報戦争、文字どおりの戦争というように総合的な性質を帯びたハイブリッド戦争となっている。だからこそ、どれほど困難であるとしても、あらゆる分野を発展させなければならない。

(5月26日 大統領府)

●ユーラシア経済最高評議会(オンライン)の開催

大統領は要旨以下を述べた。

・ユーラシア経済同盟(EAEU)加盟国にとって最も主要な貿易相手国であるロシアに対し、西側の制裁による圧力が強まっている。

・我々EAEU加盟国は、民族的なエゴイズムを超越し、結束して統一戦線を形成しなければならない。

・第三国や他の統合機構との関係進展が、EAEUにとって特に意味を持つようになってきている。制裁を踏まえ、我々は内側に閉じこもってはいならない。いわゆる集团的西側諸国以外にも、世界には、我々との対等かつ相互尊重の関係進展に関心を持つ国が十分多くある。

・エジプト及びイランとは貿易協定締結に向けて活発な交渉が行われており、インドネシアとは交渉が始まり、アラブ首長国連邦(UAE)は自由貿易協定の締結に関心を示している。

(5月27日 大統領府)

【外交】

●ピネヴィチ保健大臣は世界保健機関(WHO)の会合に出席

(1)大臣は要旨以下を述べた。

・WHO に対し、ベラルーシ向け医薬品・医療機器の供給の支援と、国際的な技術協力の継続を呼びかけ。

・ベラルーシが COVID-19 対策に 20 億ドル以上を費やしたことを強調。

(2)COVID-19 対策にかかる対ベラルーシ支援

・COVID-19 対策のため、欧州連合(EU)と米国が多額の支援を実施。EU が 2020 年から 2022 年 3 月にかけて実施した「健康の名における連帯」を通じたプロジェクトでは総額 530 万ドルが費やされた。

・世界銀行は、救急病棟の COVID-19 対策能力向上のためのプロジェクト「COVID-19 への緊急対応」を通じて、9,000 万ユーロを拠出。同プロジェクトは世界銀行が 2017 年から実施してきたプロジェクト「ベラルーシの保健システムの近代化」を補強するものであり、この「近代化プロジェクト」を通じ、ベラルーシ政府は 1 億 2,500 万ドルを調達。

・世界銀行からベラルーシへの新規融資の供与という形式の協力は、2020 年の大統領選挙での不正やその後の弾圧強化を受け、同年後半以降中断。2022 年 3 月 2 日、ロシアによるウクライナ侵略にベラルーシも荷担していることを受け、世界銀行はベラルーシ・ロシア両国との共同プロジェクトへの出資停止を発表。

(5 月 23 日 保健省、BPN)

●長崎市は、平和祈念式典(8 月 9 日)にベラルーシ・ロシア両国駐日大使を招待しない旨決定

・田上・長崎市長は、ロシアによるウクライナ侵略が続いていることを踏まえ、式典の進行の妨げとなり得る不測の事態が起こる恐れがあるとして、ベラルーシ・ロシア両国の駐日大使を招待しない旨発表。

(5 月 26 日 NHK、共同通信、BPN)

●ベラルーシ閣僚会議(政府):5 月 28 日からベラルーシ入国時の陰性証明・ワクチン接種証明の提示が不要に。

(5 月 27 日 閣僚会議(政府)公式 Telegram)

【内政】

●反体制のオペラ歌手マルガリタ・レフチュク氏の両親の逮捕

・5 月 26 日、ブレスト州ストラデチ村のレフチュク氏の両親が自宅搜索を受け、逮捕される。理由は不明。

・また、レフチュク氏とともに「赤緑」というユニットを組むアンドレイ・パウク氏の自宅も自宅搜索を受ける。

・同日後刻、レフチュク氏の両親は釈放されるも、それぞれに 70 基本単位(2,240 ルーブル≒856 ドル)の罰金刑。

・レフチュク・パウク両氏はリトアニアを拠点に活動中。本年 2 月 15 日、ベラルーシ当局は両氏を指名手配。

(5 月 26 日 BPN、Zerkalo)

【治安・軍事】

●軍需産業の現状

ゴロフチェンコ首相は要旨以下を述べた。

・制裁により、西側からの部品やコンポーネントの調達が困難になっているが、輸入代替に取り組んでおり、ロシアの調達先との関係を強化。

・今日、ベラルーシ製の兵器は国内需要だけでなく、ロシアでも大いに必要とされている。

・ロシアとは、既存の兵器の改良、ウクライナでの戦訓も踏まえた研究開発等の両国共同プログラムあり。

(5 月 24 日 国営「ベラルーシ第 1 チャンネル」)

●ポーランドにおけるスパイの摘発

・5 月初頭、ポーランド検察は、ベラルーシ国家保安委員会(KGB)に機密情報を提供しようとした男性 1 名を告訴。

・また、露連邦保安局(FSB)に協力してポーランドの利益を損なったとされる男性 2 名も告発されている。

(5 月 26 日 BPN)

【経済】

●リトアニア当局が、ベラルーシ国営企業の子会社の資産と口座を差し押さえる

・差し押さえられたのは、国営冶金メーカー「ベラルーシ冶金工場(BMZ)」の子会社「BMZ-Baltija」と、国営建機メーカー「アムコドル」の子会社「Amkodor Baltic」

の資産と口座。

(5月26日 BPN)

●ウクライナ当局がベラルーシの肥料を差し押さえ

・5月26日、ウクライナ国家捜査局は、同国ムィコライウ州で、肥料 77,000 トンを積載した貨車(2,000 万ドル相当)を接收。

・地元当局者が、制裁対象品の違法な輸出を幫助した容疑で逮捕される。

(5月27日 ウクライナ国家捜査局)

【抗議勢力の動き】

●ベラルーシの民主勢力が独カール大帝賞を受賞

・スヴェトラナ・チハノフスカヤ民主勢力代表、マリア・コレスニコヴァ氏(ババリコ元大統領候補陣営)、ヴェロニカ・ツェプカロ・ベラルーシ女性基金代表(ツェプカロ元大統領候補夫人)の3人が授賞。

・独メディア「ドイチェ・ヴェツレ」によれば、受賞理由は、3人が、最も困難な政治状況の中で、人権と平和のための戦いに貢献しているため。

・カール大帝賞は、1950 年以降、欧州統合に顕著な貢献をした人物や団体に贈られている。

(5月26日 ババリコ氏 Telegram、BPN)

【その他】

●ベラルーシは、アルコールが原因の死亡で世界一

・米国の団体「ワールド・ライフ・エクスペクタンシー」がまとめた「世界健康ランキング(World Health Ranking)」によれば、ベラルーシは、アルコールが原因の死亡者数が 19.82 人/10 万人で、183 か国中で首位。

(5月25日 ワールド・ライフ・エクスペクタンシー、BPN)

●世界ホッケー連盟は、ベラルーシ・ロシア両国のチームに対し、2023 年の選手権への出場停止を決定

(5月27日 BPN)

(了)